

施策5-1-2 ごみの適正処理の推進

担当課 環境課

施策が実現できたときの状態について、平成24年度での到達状況

- 【一部達成した】**
- ごみの排出量は東日本大震災の影響もあり、微増しております。ごみの減量、適正処理方針を検討する必要があると考えます。
 - ごみ処理の広域化については、雫石・滝沢環境組合が設置され3年が経過し、益々の効果的、経済的な効果が期待されます。また、盛岡広域におけるごみ処理広域化については、県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想骨子が策定され、今後具体的な協議に入ります。

3ヵ年方針のうち、平成24年度の重点課題の達成(実現)状況

- 【概ね達成した】**
- 一般廃棄物処理を行う雫石・滝沢環境組合は、適切な運営が図られた。
 - 滝沢リサイクルセンターが完成(9月)した。

施策目標の達成(実現)に向けた3ヵ年の取組みと方針についての達成(実現)状況

- 【概ね達成した】**
- 一般廃棄物処理を行う雫石・滝沢環境組合は、適切な運営が図られた。
 - ごみ排出量を効果的に減少などを図るために廃棄物等減量推進審議会を開催した。

施策目標値の達成状況

